

平成29年度教育委員会点検評価

[評価対象期間]

平成29年4月1日～平成30年3月31日

平成30年8月

加西市教育委員会
加西市教育委員会評価委員会

○教育委員会評価にかかる難易度基準の設定

難易度	難易度設定の基準
A	加西市独自に取り組むもので、達成が困難なもの
	国、県の基準を超えて加西市独自の基準で取り組んだもの
	定額交付金制度等における市費の予算措置の獲得と事業推進にかかるもの
	その他、障壁が大きく、客観的に達成困難と思えるもの
B	以前から取り組んでいるもので、達成に努力を要するもの
	国、県の基準で行うもので、達成が困難なもの
	要綱に則るが、市の推進方向、学校の実態に沿う取組で、達成が困難なもの
	その他、客観的に達成に大きな努力を要するもの
C	国、県の基準で行うもので、達成可能なもの
	以前から取り組んでいて、達成可能なもの
	その他、客観的に達成可能と思えるもの

○教育委員会評価にかかる達成度基準の設定

達成度	達成基準
4	目標を大きく超えて達成
3	目標を超えて達成
2	ほぼ目標を達成
1	目標を下回る

○評価基準の表示方法

評価基準の表示については、横軸：難易度、縦軸：達成度として塗潰して表示する。

難易度は高い順にA～Cの3段階、達成度は高い順に4～1の4段階で評価する。

右の例示は難易度B、達成度3。

(達成度)

4			
3			
2			
1			

C B A (難易度)

平成29年度 加西市教育委員会点検評価総括表

基本理念	重点目標	実践目標	取組	評価		担当課
				難易度	達成度	
新しい時代を切り拓くこころ豊かで自立した人づくり	0歳から15歳までの一貫した教育を進めます	1 「生きる力」の基礎をはぐくむ幼児期の教育・保育を充実します	体験的な活動の充実ならびに食育を通じて家庭、地域との連携推進を図る	B	3	こども未来課
			3～5歳児(36か月)の発達を見通した教育カリキュラムを実施する	B	3	
			子育て相談などの機会設定と療育・保健部門と連携した子育て支援を推進する	A	3	
		2 発達や学びの連続性を保つ保幼・小・中学校の連携教育を強化します	小1プロブレム・中1ギャップの解消を目指した各種委員会・研修講座等の充実と、「家庭学習ハンドブック」「発達支援ファイル」の活用を推進する	A	3	総合教育センター
		3 授業改善等、学力向上策の充実を図り、「確かな学力」を育成します	児童生徒の「確かな学力」を育成するため、授業改善に取り組むとともに、人的支援等によるきめ細かな指導の充実を図る	A	3	学校教育課
			学校との連携を深め、子どもたちの読書活動を支援する	B	3	図書館
		4 人間形成の基盤となる自尊心・自律性・道徳性など「豊かな心」を育てます	児童生徒の「豊かな心」を育成するため、道徳の時間を要とした道徳教育の推進や体験活動の充実を図る	B	3	学校教育課
			いじめの積極的な認知と、未然防止、早期発見・早期対応における組織的対応の充実を図る	B	3	総合教育センター
		5 体育や健康教育、食育を推進して「健やかな体」を育てます	「健やかな体」を育成するため、授業改善等を通じた体力・運動能力の向上、栄養教諭を活用した食育指導等の充実を図る	B	2	学校教育課
			安全安心な学校給食を実施する	B	3	教育総務課
		6 家庭・地域・学校園が連携し、特色ある学校園づくりを進めます	地域全体で子どもを守り育てる環境づくりを推進する	B	4	総合教育センター
		7 教職員としての資質能力の向上、研修の充実に努めます	キャリアステージに応じた資質や能力の向上・育成を目指した研修講座等の充実を図る	A	3	総合教育センター
	生涯を通じた「学び」を充実	1 市民一人一人のニーズと社会の要請に応える「学び」の場を提供します	学習機会を提供する	B	3	生涯学習課
		2 「いつでも、どこでも、気軽に」学べる公民館活動を充実します	学習成果を地域に還元する	B	2	生涯学習課
		3 ふるさとの豊かな歴史、文化遺産を活かしたまちづくりを進めます	指定文化財および埋蔵文化財の保護活用と情報発信に取り組む	B	3	生涯学習課
			地域歴史遺産の掘り起こしと活用及び文化財保存団体等の活動を支援する	B	3	
	みんなですすみます子どもの未来を応援し、支	1 子育て環境の充実を図ります	幼保連携型認定こども園の整備と学童保育の充実を図る	A	3	こども未来課
			特別保育ならびに保育料の負担を軽減する	B	4	
			親子のふれあいや地域交流を通じた子育て支援を実施する	B	3	
		2 命と人権を大切にするとともに心豊かな青少年の健全育成を進めます	青少年の健全育成に係る関係機関・団体等との情報交換や合同研修活動等の充実を図る	B	3	総合教育センター
		3 安全・安心な教育環境を整えます	教育施設の老朽化度合いを考慮し、各年度に実施する改修工事件数を設定し、計画的に改修工事を実施する	B	3	教育総務課

< 施策評価の分布 >

実践目標を構成する各取組内容の評価分布数は、下記の表のとおりです。

難易度	A	B	C	合計
施策数	5	16	0	21
割合(%)	24%	76%	0%	

達成度	4	3	2	1	合計
施策数	2	17	2	0	21
割合(%)	10%	80%	10%	0%	

重点目標	1	0歳から15歳までの一貫した教育を進めます
------	---	-----------------------

実践目標	1	「生きる力」の基礎をはぐくむ幼児期の教育・保育を充実します
------	---	-------------------------------

【 担当課 こども未来課 】

取組	1	体験的な活動の充実ならびに食育を通じて家庭、地域との連携推進を図る						
取組内容	○様々な人や物との関わりを通して、多様な体験ができるよう環境構成を工夫し、コミュニケーション力や思考・表現力の育成を推進 ○地域、家庭などと連携した健全な食育活動の実践							
指標名		指標説明	区分	目標数値	実績数値			
食育講座		園児と保護者の参加人数	H28	450人	454人			
			H29	500人	555人			
取組状況・成果		・年間指導計画に基づく園活動を実施し、絵本の読み聞かせなど地域の教育力を活かした、様々な体験活動の取組を通じて地域と幼児の関わりを深めた。						
		・園庭の畑や一人一鉢栽培で、種まき、栽培、収穫体験、さらにクッキング活動を通して「食」の楽しさ、五感を通じた体験活動の喜びを味わえるように進めた。また、保護者に対し食育の大切さを伝えるため、加西市健康課、加西市いずみ会と連携して5歳児対象の食育講座を実施した。						
		平成28年度(11園)		平成29年度(10園)				
		太鼓演奏	1園	園児	50人	1園	園児	37人
		地域の行事に参加	11園	園児	574人	10園	園児	462人
		絵本の読み聞かせ	11園	園児	574人	10園	園児	618人
		こども茶道教室	3園	園児	94人	3園	園児	105人
		こどもヨガ教室	3園	園児	58人	3園	園児	65人
		リズム遊び	3園	園児	58人	3園	園児	65人
食育講座		9園	園児・保護者	454人	10園	園児・保護者	555人	
今後の取組・課題		・幼児期の心が動く体験活動を大切にしながら、各園の特徴ある取組の中で培われる学びを意識し、他園との柔軟な協力体制を構築して保育の質を充実していく必要がある。 ・「遊びの中の学び」という教育の見えにくい部分をしっかりと可視化して、保護者に発信できるよう、情報提供、共通理解等の方法を工夫する。				評価		

取組	2	3～5歳児(36か月)の発達を見通した教育カリキュラムを実施する			
取組内容	○人間形成の基礎となる豊かな心情、物事に自分から関わろうとする意欲や健全な生活を営むために必要な態度を育むための保育内容の実践 ○異年齢交流、地域の人達との体験活動を通した人権意識・道徳性の芽生えの育成 ○健康で安全・安心な園生活を保障した園管理の実施 ○小学校教育への円滑な接続に情動知能を育てるSTARTプログラムの実践				
指標名		指標説明	区分	目標数値	実績数値
市指定研究発表にかかる職員参加者		公私立園の参加延人数	H28	200人	228人
			H29	185人	185人
取組状況・成果	・PDCAサイクルを実践することにより、各園の教育目標やねらいを達成すべく、3歳児から就学前までの保育カリキュラムの内容に沿いながら実践した。 ・各園の特徴を活かし、年間計画に基づき、担任同士の相互理解を進め、柔軟な異年齢交流ができるように努めた。 ・互恵性のある幼小交流、異年齢・地域の人とのふれあいの内容・場を工夫、設定し実践した。 ・基本的生活習慣の定着を更に進め、保護者への啓発を図るために、生活習慣検討部会を立ち上げ、各年齢ごとに応じた項目を厳選、検討しながら作成した。 ・職員の資質向上を図るため、北条東こども園において園内研修(公開保育)を5回開催し、11月の実践発表と講演会には幼保職員延べ185人参加した。(うち私立園は3人。)人数減は東播磨地区の研究会とあわせて開催したため、開催日が土曜午後ではなく平日となり参加者が限られた。 ・毎月、安全点検・危機管理マニュアルの職員共通理解・関係機関連携も含めた避難訓練(火災・地震・不審者等)を実施した。 ・加西市が実施する研修講座に参加する私立園の保育士は、これまで数名程度であったが、29年度は運動会に活用できる「体育遊び」や「新教育要領、新保育指針の改訂ポイント」を分かりやすく学ぶ合同研修会を企画し、周知したところ、私立園から34名の受講があり公私立を含めた職員全体の資質の向上につながった。				
今後の取組・課題	・こども園化により組織が拡大し、職員同士の共通理解の場が減少してしまうという課題がある中、幼児の発達の連続性を重視し、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を具体的に捉えることができるように、職員同士の保育カンファレンスの場を必要に応じて確保することに努めたい。 ・五感を通して学んでいくこの大切な幼児期に、よりふさわしい環境を積極的に、柔軟に取り入れ、また、改善していくための継続的な研修の場を構築していく必要がある。				評価

取組	3	子育て相談などの機会設定と療育・保健部門と連携した子育て支援を推進する			
取組内容	○就園前の親子を対象に、育児相談並びに体験保育の場として園庭開放 ○発達障害児支援について療育・健康福祉・医療機関部門との連携を図り、加配職員を適正に配置 ○個々の特性に応じた個別の指導計画の立案及び発達に応じた支援ファイルの作成				
指標名		指標説明	区分	目標数値	実績数値
支援担当職員数		特別な支援のための加配職員配置数	H28	20人	21人
			H29	25人	27人
取組状況・成果	・未就園児親子を対象に延べ25回の園庭開放や幼稚園ウイークなどの公開保育を計30回開催した。また、親子参加事業等を53回開催し、今後、保育所に子どもを預けたいと思う保護者に対して情報提供を行い、子育ての不安解消に取り組んだ。 ・発達相談等のあった3歳児以上の園児42名を対象に、個々の実態調査を行い、支援担当職員27名を配置した。また、私立園には加配職員配置助成を4件講じ、園児や保護者との対応について相互理解を図った。 ・発達支援児の指導計画を基に個々の支援ファイルを作成し、保幼小職員間で支援ファイルをもとに情報の共有化を図った。特に就学前の児童については保育者、関係機関が保護者との相談を重ねながら、体験入学等、円滑な接続に取り組んだ。 ・公私立園の気になる園児を療育室、総合教育センターへとつなぎ、保護者と共に適切な支援の方法を探った。				
今後の取組・課題	・インクルーシブ教育を進めていくために、職員は研修に参加して特別支援教育の専門知識と実践力を高め、個々の園児に合った支援の方法を探っていく必要がある。 ・支援を必要とする園児数が年々増加しており、加配職員の確保が厳しい状況である。しかし、丁寧な関わりがもてる環境を整えるため、引き続き職員の確保と育成に努めたい。				評価

重点目標	1	0歳から15歳までの一貫した教育を進めます
------	---	-----------------------

実践目標	2	発達や学びの連続性を保つ幼・小・中学校の連携教育を強化します
------	---	--------------------------------

【 担当課 総合教育センター 】

取組	1	小1プロブレム・中1ギャップの解消を目指した各種委員会・研修講座等の充実と、「家庭学習ハンドブック」「発達支援ファイル」の活用を推進する			
取組内容	○幼保・小・中・特別支援学校及び各種関係機関等との連携の推進 ・小中連携教育推進委員会の開催 (加西市小中連携推進プラン(H27.2月策定)に基づく各中学校区毎の取組の推進) ・発達支援プログラム(小集団トレーニング、保護者学習会、小中学校連絡会等)の実施 ・特別支援教育に係る幼保小中特別支援学校ネットワーク会議の開催 (支援・関わりの歴史の引継ぎ、発達支援電子ファイルの活用等について情報交換) ・学警総連絡会兼いじめ対応ネットワーク会議(中学校区情報交換会)の開催 ○家庭学習ハンドブックを作成・配付及び活用の推進 ・平成28・29年度改訂版を、市内全児童生徒に配付(学級懇談会・学活等で活用方法説明)				
指標名		指標説明	区分	目標数値	実績数値
特別な配慮を実施した児童生徒数		各種ネットワーク会議や学警総連絡会等で、特別な配慮が必要な児童生徒について、関わり方等を情報交換し、実際の指導等に活かした児童生徒数	H28	150人	186人
			H29	192人	256人
取組状況・成果	児童生徒理解に係る連絡会等一覧				
	会 議 名		備 考		
	小中連携教育推進委員会		年間3回開催(内1回は播磨東地区研修会)		
	幼保小中特別支援学校ネットワーク会議		年度末に加西特別支援学校にて開催		
	学警総連絡会(中学校区情報交換会)		年間5回開催、中学校区毎に情報交換		
	・各学校や各中学校区における小中連携教育の取組が、継続・発展・増加してきた。 ・推進委員会での現状報告(各校の想い等)が、各校の取組等に活かされている。 ・発達支援電子ファイルを、複数の県立高等学校・私立高校に引き継ぐことができた。 (継続的な支援等を図ることができる。今後も支援等の繋がりを拡大させていきたい。) ・関係機関・専門医師等との共通理解が、児童生徒・保護者等との関わりに活かされている。 ・学警総連絡会での児童生徒対応等の記録が、確実に引き継がれるようになった。 ・家庭学習ハンドブックの活用状況を調査し、平成30年度版作成に活かすことができた。				
今後の取組・課題	・加西市小中連携推進プランに基づき、各中学校区の現状と課題に寄り添いつつ、9年間のカリキュラムを作成する等、具体的な取組を実施する。 ・特別な配慮が必要な児童生徒にあつては、学校・保護者・関係機関等とが、より一層の連携を深め、発達支援電子ファイルの有効活用に関する具体的方法等を検討し、総合的・継続的な支援等に結びつけることが必要である。 ・より活用できる家庭学習ハンドブックを目指して、平成30年度版を作成した。今後はその活用方法等について、各校・各家庭に周知する方法等を検討していきたい。				評価

重点目標	1	0歳から15歳までの一貫した教育を進めます
------	---	-----------------------

実践目標	3	授業改善等、学力向上策の充実を図り、「確かな学力」を育成します
------	---	---------------------------------

【 担当課 学校教育課 】

取組	1	児童生徒の「確かな学力」を育成するため、授業改善に取り組むとともに、人的支援等によるきめ細かな指導の充実を図る			
取組内容	○かさい学力向上プロジェクト事業(H26～) ・かさい学力向上推進委員会の設置(全国学力・学習状況調査結果分析等) ・学力向上セミナーの開催(12/25) [参加者]小・中・特支学校教諭等32人 ・授業実践講座の開催(7/26、8/10) [参加者]小・中・特支学校教諭等のべ58人 ・読書活動の活性化 各校50万円の図書購入費を措置 ○スクールサポーター配置事業(H27～) 教員免許所持者等の支援員を配置し、各学校や個々の児童生徒の状況に応じた学習支援の実施 [支援員]スクールアシスタント、ヤングアドバイザー等のべ46人 ○学習支援システムの導入(H28～) Web上の学習支援システムを導入し、学習コンテンツ等の活用及び児童生徒の習熟度に合わせたプリント教材の活用による学力向上の取組の推進 [導入校]全16校 ○加西市外国語活動推進プランの実施(H23～) ・ALTの配置 [配置校]全16校(小1～4年間10時間、小5～年間35時間) ・オンライン英会話の実施 [実施校]全小中学校のべ400回 ・英語が堪能な地域人材の活用 [配置校]全小中学校のべ62時間 ○かさいがんばりタイムの実施(H26～) 地域人材を活用した放課後の補充学習の促進 [実施校]全中学校のべ539h ○かさい未来塾の実施(H28～) 地域人材を活用した長期休業中の補充学習の実施 [実施校]全中学校のべ91日間 ○「家庭学習ハンドブック」の活用(H25～) 家庭学習ハンドブックを活用し、家庭学習の取組の促進 [実施校]全小・中学校				
指標名		指標説明	区分	目標数値	実績数値
全国学力・学習状況調査の平均正答率(国、算・数)		悉皆調査で実施される全国学力・学習状況調査における各科目の平均正答率	H28	全国平均以上	5/8科目
			H29	全国平均以上	6/8科目
授業(国、算・数)がよくわかると回答した児童生徒の割合		悉皆調査で実施される全国学力・学習状況調査における質問紙調査項目 ※ 肯定的な回答をした割合	H28	全国平均以上 ()内は全国比	小80.2%(▼0.3) 中68.7%(▼3.1)
			H29	全国平均以上 ()内は全国比	小82.3%(◎0.9) 中70.6%(▼1.6)
普段、1日当たり1時間以上学習する児童生徒の割合		悉皆調査で実施される全国学力・学習状況調査における質問紙調査項目	H28	全国平均以上 ()内は全国比	小68.5%(◎6.0) 中72.4%(◎4.5)
			H29	全国平均以上 ()内は全国比	小66.3%(◎1.9) 中75.3%(◎5.7)
取組状況・成果		・学力については、全国平均以上の科目が前年度より1科目増えるとともに、中学校においては全ての科目で全国平均を6ポイント程度上回り、高い数値を示している。 ・授業(国、算・数)がよくわかると回答した児童生徒の割合は、小・中学校ともに昨年度より高くなっており、小学校においては全国平均を上回っている。 ・平日の家庭学習において、1時間以上学習する児童生徒の割合は、小学校で2ポイント程度低くなったが、小・中学校ともに全国平均を上回っている。			
今後の取組・課題		・新しく導入した「学習支援システム」について、各校において多様な学習活動を取り入れた授業づくりを推進するとともに、効果的な活用について情報共有を図る。 ・「かさいがんばりタイム」や「かさい未来塾」等、放課後や長期休業日を利用した補充学習等を進め、基礎的基本的な知識・技能の定着や学習習慣の確立を図る。また、いずれも中学校における取組であるため、小学校への導入を検討する。 ・平成30年度から新学習指導要領の移行期となるため、特に授業時数が増加する外国語活動、外国語科について、学力向上のための施策の充実を図る。	評価		

取組	2	学校との連携を深め、子どもたちの読書活動を支援する																	
取組内容	○「第二次加西市子ども読書活動推進計画」に基づき、学校との連携を深め、子どもたちの読書活動を推進 ・市内4中学校の1年生にブックトークの出前講座 ・小学校でのブックトークやお話会の出前講座 ・市内小・中・特別支援学校への団体貸出託送サービス ・学校図書館の整理に関する相談や本の廃棄作業 ・学校からの図書館見学 ・児童書等蔵書数の拡充																		
指標名		指標説明	区分	目標数値	実績数値														
小中学校へのブックトークとおはなし会の出前講座の充実		小・中学校へのブックトーク、おはなし会の回数	H28	小学校 8回 中学校 4回	小学校 9回 中学校 4回														
			H29	小学校 8回 中学校 4回	小学校 8回 中学校 4回														
取組状況・成果	・ブックトークとおはなし会は、小学校、中学校とも目標数値に達した。 ・小中特支や幼保園への団体貸出託送サービスは、ほぼ目標冊数となった。 ・学校図書館の整理に関する相談や本の廃棄作業は、目標校を1校上回り4校となった。 ・学校からの図書館見学は目標数値での利用となった。 ・児童書の蔵書数は、予算の確保により順調に増加し、目標数値を上回った。																		
	学校連携事業の取組一覧 <table><tr><td>取組事業名</td><td>目標数値</td><td>実績</td></tr><tr><td>市内小・中・特別支援学校、幼保園への団体貸出託送サービス</td><td>3,400冊</td><td>3,381冊</td></tr><tr><td>学校図書館の整理に関する相談や本の廃棄作業</td><td>3校</td><td>4校</td></tr><tr><td>学校からの図書館見学</td><td>11回</td><td>11回</td></tr><tr><td>児童書の蔵書数の拡充</td><td>39,000冊</td><td>39,400冊</td></tr></table>					取組事業名	目標数値	実績	市内小・中・特別支援学校、幼保園への団体貸出託送サービス	3,400冊	3,381冊	学校図書館の整理に関する相談や本の廃棄作業	3校	4校	学校からの図書館見学	11回	11回	児童書の蔵書数の拡充	39,000冊
取組事業名	目標数値	実績																	
市内小・中・特別支援学校、幼保園への団体貸出託送サービス	3,400冊	3,381冊																	
学校図書館の整理に関する相談や本の廃棄作業	3校	4校																	
学校からの図書館見学	11回	11回																	
児童書の蔵書数の拡充	39,000冊	39,400冊																	
今後の取組・課題	・予算の確保に努め、学校が必要とする児童書の充実を図っていく。 ・今後は、学校への託送のみでなく、ブックトークなどの出前講座ができる司書スタッフの確保と養成が必要である。				評価														

重点目標	1	0歳から15歳までの一貫した教育を進めます
------	---	-----------------------

実践目標	4	人間形成の基盤となる自尊心・自律性・道徳性など「豊かな心」を育てます
------	---	------------------------------------

【 担当課 学校教育課 】

取組	1	児童生徒の「豊かな心」を育成するため、道徳の時間を要とした道徳教育の推進や体験活動の充実を図る			
取組内容	○兵庫型「体験教育」の実施(県事業) ・環境体験事業(H19～) [対象]小3:292人 ・自然学校推進事業(S63～) [対象]小5:351人 ・わくわくオーケストラ教室(H18～) [対象]中1:370人 ・「トライやる・ウィーク」推進事業(H10～) [対象]中2:338人 ・交流・体験チャレンジ事業(H26～) [対象]特別支援学校小5～中3:15人 ○道徳教育の充実 ・全体計画、年間指導計画の作成 [作成校]全小・中学校 ・「道徳の時間」の確保 [標準時数]小学校1年生34h、小学校2年生～中学校3年生35h ○キャリア教育の推進 ・全体計画、年間指導計画の作成 [作成校]全小・中学校 ○生活習慣「あ・い・う・え・お」の推進				
指標名		指標説明	区分	目標数値	実績数値
学校のきまり(規則)を守っていると思う児童生徒の割合		悉皆調査で実施される全国学力・学習状況調査における質問紙調査項目 ※ 肯定的な回答をした割合	H28	全国平均以上 ()内は全国比	小93.9%(◎2.4) 中96.4%(◎1.7)
			H29	全国平均以上 ()内は全国比	小94.1%(◎1.5) 中96.5%(◎1.3)
いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う児童生徒の割合		悉皆調査で実施される全国学力・学習状況調査における質問紙調査項目 ※ 肯定的な回答をした割合	H28	全国平均以上 ()内は全国比	小96.6%(◎0.0) 中94.8%(◎1.2)
			H29	全国平均以上 ()内は全国比	小94.7%(▼1.4) 中92.6%(▼0.2)
自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合		悉皆調査で実施される全国学力・学習状況調査における質問紙調査項目 ※ 肯定的な回答をした割合	H28	全国平均以上 ()内は全国比	小76.3%(◎0.0) 中69.9%(◎0.6)
			H29	全国平均以上 ()内は全国比	小80.0%(◎2.1) 中73.3%(◎2.6)
難しいことも失敗を恐れず挑戦している児童生徒の割合		悉皆調査で実施される全国学力・学習状況調査における質問紙調査項目 ※ 肯定的な回答をした割合	H28	全国平均以上 ()内は全国比	小73.4%(▼2.7) 中53.2%(▼16.4)
			H29	全国平均以上 ()内は全国比	小72.9%(▼2.8) 中70.3%(▼0.7)
取組状況・成果		・児童生徒の道徳性に関して、規範意識は全国平均値と同様に高い数値を示している。自尊感情に関しては、前年度よりも全国平均比で2ポイント改善し、小・中学校ともに全国平均より高い数値を示している。 ・チャレンジ精神については、小学校ではほぼ横ばいであるが、中学校では17ポイント程度改善し、小・中学校ともに全国平均並である。 ・「道徳の教科化」に向け、道徳研究校を小、中各1校、計2校指定(H28・29年度)し、道徳の授業改善、評価の在り方等について、研究を推進した。また、その成果を発表し、市内各校へ周知を図った。 ・キャリア教育を推進するため、北条中学校を新たに研究指定し、実践的な研究に取り組んでいる。			
今後の取組・課題		・各校の全体計画や年間指導計画に沿って、兵庫型「体験教育」と関連付けたキャリア教育を推進し、その中で児童生徒の自尊感情やチャレンジ精神を高める取組を進める必要がある。 ・道徳の教科化については、小学校が平成30年度、中学校が平成31年度である。教科書が導入されるため、各校の全体計画や年間指導計画を見直し、それに基づいて、道徳教育のさらなる充実を図る。			評価

取組	2	いじめの積極的な認知と、未然防止、早期発見・早期対応における組織的対応の充実を図る			
取組内容	○いじめ防止に係る取組の充実 ・加西市いじめ防止基本方針(平成26年4月策定)の見直しと改定(各校毎においても「学校いじめ防止基本方針」の見直しと改定) ・加西市いじめ対応ネットワーク会議の開催 ・加西市子どもいじめ問題対策審議会の開催				
指標名		指標説明	区分	目標数値	実績数値
いじめの認知件数		積極的ないじめの認知に係る認知件数	H28	—	小学生4件 中学生20件
			H29	—	小学生8件 中学生9件
取組状況・成果	いじめ対応に係る対策会議等一覧				
	会 議 名		備 考		
	加西市いじめ対応ネットワーク会議		年間5回開催(学警総連絡会と併せて実施)		
	加西市子どもいじめ問題対策審議会		年間2回開催(委員は5名、各種専門家等)		
	・いじめの未然防止(居心地のよい・居場所のある仲間づくり等)の取組を実施することを通して、児童生徒の「豊かな心」の醸成を図ることができた。				
	・加西市いじめ対応ネットワーク会議を開催することを通して、いじめの未然防止、早期発見・早期対応等を図ることができた。また、各校の取組等を共有し、自校の取組等に活かすことができた。				
今後の取組・課題	・加西市子どもいじめ問題対策審議会を開催することで、ネット上のいじめへの学校対応について協議し、その内容等を含めた「加西市いじめ対応マニュアル」(改訂版)を作成することができた。また、各種専門家等からの貴重な意見等を聞くことができた。				
	・加西市いじめ防止基本方針・加西市いじめ対応マニュアルの見直し等を行い、改定・改訂を行った。各校へ通知・通達すると共に、各校のいじめ対応の在り方について、校内研修等の資料として活用してもらった。				
	・積極的ないじめ認知を心がけ、早期対応・指導等によって、より豊かな人間関係の構築に繋げる。				
	・各校の取組等について、専門家からの感想やアドバイス等を活かし、未然防止や早期対応等に繋げていきたい。				
・加西市いじめ防止基本方針や加西市子どものいじめ防止等に関する条例等に則り、さらに具体的な取組等を推進する必要がある。					
評価					

重点目標	1	0歳から15歳までの一貫した教育を進めます
------	---	-----------------------

実践目標	5	体育や健康教育、食育を推進して「健やかな体」を育てます
------	---	-----------------------------

【 担当課 学校教育課 】

取組	1	「健やかな体」を育成するため、授業改善等を通じた体力・運動能力の向上、栄養教諭を活用した食育指導等の充実を図る				
取組内容	○かさい体力向上プロジェクト事業(H28～) ・体力向上プロジェクト委員会の設置(全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果分析等) ・広報誌の作成 ※加西市Webサイトにも掲載 ○スクールサポーター配置事業(H27～)【再掲】 ○食育の推進 栄養教諭による食育年間指導計画を作成し、それに基づいて各校の食育を推進 ○がんの教育総合支援事業(県事業) [推進校]下里小学校 がん教育講演会(講師:東京女子医科大学がんセンター長 林 和彦氏)とがんに関する授業を実施 ○部活動指導員配置事業(県事業) [配置校]中学校2校 ○「部活動ガイドライン」の見直し					
指標名		指標説明	区分	目標数値	実績数値	
全国体力・運動能力、運動習慣等調査の実技調査(国、算・数)		悉皆調査で実施される全国体力・運動能力、運動習慣等調査における各種目の平均数値	H28	全国平均以上	小男 2/8種目 小女 4/8種目 中男 3/9種目 中女 7/9種目	
			H29	全国平均以上	小男 5/8種目 小女 5/8種目 中男 5/9種目 中女 7/9種目	
体育の授業が楽しいと回答した児童生徒の割合		悉皆調査で実施される全国体力・運動能力、運動習慣等調査における質問紙調査項目 ※「楽しい」と回答した割合	H28	全国平均以上	小男74.5%(◎1.3) 小女53.8%(▼6.5) 中男58.5%(◎8.3) 中女41.1%(◎2.3)	
			H29	全国平均以上	小男77.2%(◎4.2) 小女61.9%(◎2.1) 中男47.0%(▼3.3) 中女35.1%(▼4.4)	
毎日朝食を食べる児童生徒の割合		悉皆調査で実施される全国学力・学習状況調査における質問紙調査項目 ※「毎日食べる」と回答した割合	H28	全国平均以上 ()内は全国比	小89.6%(◎2.3) 中85.5%(◎2.2)	
			H29	全国平均以上 ()内は全国比	小83.5%(▼3.5) 中86.0%(◎3.3)	
取組状況・成果		・実技調査において、全ての学年で全国平均を上回る種目が半分以上となり、体力・運動能力は改善傾向である。また、「上体起こし」「長座体前屈」は全ての学年で下回っており、「力強さ」や「柔軟性」に課題が見られる。 ・体育の授業が楽しいと回答した児童生徒の割合は、小学で前年度より改善し、男女ともに全国平均値よりも高い。一方、中学では男女ともに全国平均値よりも低く、半数にあたる50%にも満たない状況である。 ・毎日朝食を食べる児童生徒は小・中ともに8割以上ではあるが、特に小学校において年々割合が下がっており、今年度は全国平均値を下回った。				
今後の取組・課題		・「かさい体力向上プロジェクト事業」において、児童生徒の「力強さ」や「柔軟性」を高めるための方策を提案し、各校での取組を推進する。 ・特に小学校における体育の指導力向上を図るため、引き続き外部講師による研修会の実施や校内研修等を進める必要がある。 ・栄養教諭による計画的な食育・栄養指導により、各校の食育をさらに進める必要がある。			評価	

取組	2	安全安心な学校給食を実施する																																		
取組内容	○小中特別支援学校の完全給食の実施 ○アレルギー対応食の実施 ○地産地消の推進																																			
指標名		指標説明	区分	目標数値	実績数値																															
市内産食材の使用量		1人当たりの年間消費重量	H28	15.0kg/人	15.2kg/人																															
			H29	15.0kg/人	16.7kg/人																															
取組状況・成果	・平成26年1月に北部学校給食センターが完成し、市内の全小・中・特別支援学校の完全給食が実施された。平成26年9月より、アレルギー対応食調理室を完備している北部学校給食センターの受配校に限り、卵除去食を実施している。地産地消の推進として、米は全て市内産のヒノヒカリを使用している。また、市内産野菜については、愛菜館、播磨農業高校、神戸大学、富田まちづくり協議会から地元産の大豆を使用した味噌を購入している。目標の使用量は達成した。																																			
	<table><tr><td>市内産食材名</td><td>納入者</td><td>H28重量(kg)</td><td>H29重量(kg)</td></tr><tr><td>米</td><td>県体育協会</td><td>50,985</td><td>49,627</td></tr><tr><td>野菜</td><td>愛菜館</td><td>4,685</td><td>6,297</td></tr><tr><td>野菜</td><td>播磨農業高校</td><td>103</td><td>60</td></tr><tr><td>野菜・果物</td><td>神戸大学</td><td>171</td><td>193</td></tr><tr><td>里芋</td><td>元 源</td><td></td><td>152</td></tr><tr><td>味噌</td><td>富田まちづくり協議会</td><td></td><td>1,387</td></tr><tr><td colspan="2">合 計</td><td>55,944</td><td>57,716</td></tr></table>				市内産食材名	納入者	H28重量(kg)	H29重量(kg)	米	県体育協会	50,985	49,627	野菜	愛菜館	4,685	6,297	野菜	播磨農業高校	103	60	野菜・果物	神戸大学	171	193	里芋	元 源		152	味噌	富田まちづくり協議会		1,387	合 計		55,944	57,716
	市内産食材名	納入者	H28重量(kg)	H29重量(kg)																																
	米	県体育協会	50,985	49,627																																
	野菜	愛菜館	4,685	6,297																																
	野菜	播磨農業高校	103	60																																
	野菜・果物	神戸大学	171	193																																
里芋	元 源		152																																	
味噌	富田まちづくり協議会		1,387																																	
合 計		55,944	57,716																																	
<table><tr><td>配食人数 (人)</td><td>3,692</td><td>3,451</td></tr><tr><td>1人当・年間消費重量(kg/人)</td><td>15.2</td><td>16.7</td></tr></table>				配食人数 (人)	3,692	3,451	1人当・年間消費重量(kg/人)	15.2	16.7																											
配食人数 (人)	3,692	3,451																																		
1人当・年間消費重量(kg/人)	15.2	16.7																																		
今後の取組・課題	・南部学校給食センターは、老朽化が進んでいるため、平成31年度以降に改築する予定。完成後は、単独調理場3施設を給食センターに吸収する。また、南部学校給食センターにアレルギー対応食調理室を整備することで、全市の学校にアレルギー対応食を配食できる。地産地消について、米は全て市内産を使用しているが、野菜は種類と生産量に限りがあるため、メニューを工夫して消費量を上げることが今後の課題である。																																			
					評価																															

重点目標	1	0歳から15歳までの一貫した教育を進めます
------	---	-----------------------

実践目標	6	家庭・地域・学校園が連携し、特色ある学校園づくりを進めます
------	---	-------------------------------

【 担当課 総合教育センター 】

取組	1	地域全体で子どもを守り育てる環境づくりを推進する			
取組内容	○家庭や地域、関係機関等の協力による、多様な体験活動・体験教育等の推進 ・学校づくり応援事業の推進(担当課:市学校教育課) ・土曜チャレンジ事業の推進 ・地域未来塾事業の推進 ・地域コーディネーターによる学校支援 ○子どもを犯罪・事故等から守り、安全・安心の地域づくりの推進 ・加西市地域見守り隊の活動支援 ・ワッショイスクール推進事業の活動支援				
指標名		指標説明	区分	目標数値	実績数値
地域見守り隊・ワッショイスクール等登録者数		市内11小学校に登録している、地域見守り隊とワッショイスクール等の人数の合計	H28	1,100人	1,268人
			H29	1,100人	1,807人
取組状況・成果	小学校における子ども見守り活動事業等一覧				
	事業名	H28登録人数	H29登録人数	備 考	
	ワッショイスクール	407人	372人	H15年度より順次設置(学校を神輿の如く支え持つ)	
	子ども見守り隊	861人	861人	H18.2月結成(登下校時の横断誘導・挨拶等)	
	子ども110番の家	574件	574件	連P推薦(子ども達の下校時に在宅家庭)、幟旗・シール	
	・家庭・地域・関係機関等と連携した取組が増加・充実し、特色ある学校づくりの推進が図れている。 ・子ども見守り活動等が、地域の理解・協力等により、毎日確実に実施され、安全安心の学校づくり・安全な登下校等に繋がっている。 ・学校・家庭・地域が、子どもたちの成長に関わる当事者として、責任と役割を果たし、互いに連携・協力して、子どもたちの教育に取り組んでいる。				
今後の取組・課題	・各学校の取組を様々な機会に広報し、地域の更なる理解・協力が得られるようにしていきたい。 ・児童数の減少により、下校時における一人帰宅者が増加傾向にある。子ども見守り隊への登録人数が各校で差があり、特に小規模校ほど一人帰宅者が多く、見守り隊登録者が少ない現状がある。				評価

重点目標	1	0歳から15歳までの一貫した教育を進めます
------	---	-----------------------

実践目標	7	教職員としての資質能力の向上、研修の充実に努めます
------	---	---------------------------

【 担当課 総合教育センター 】

取組	1	キャリアステージに応じた資質や能力の向上・育成を目指した研修講座等の充実を図る				
取組内容	○総合教育センターにおける教職員研修講座の充実 ・全教職員対象アンケート調査結果をもとに、38コース45講座の研修講座の開催 ・喫緊の教育課題をテーマとした講座、実践に即した事例研修やワークショップ、現地研修や特別研修講座等、多彩な講座の開催 ・全教職員（公立・私立幼保こども園等教諭・保育士含む）を対象とした教育講演会の開催 ・教科指導力の向上を目指した実技講座の開催 ・若手教員を対象としたコンプライアンス研修講座・授業力向上講座の開催 ・中学校教員を対象とした部活動指導者研修講座の開催 ・参加者全員を対象とした講座終了後のアンケート（講座評価・感想等）の実施					
指標名		指標説明	区分	目標数値	実績数値	
研修講座における受講者評価 （5点満点）		参加者全員を対象とした、講座終了後のアンケート（講座評価）結果	H28	4.5	4.47	
			H29	4.5	4.61	
取組状況・成果	総合教育センター教職員研修講座・指標一覧					
	成果指標		H28	H29		
	教職員研修講座数		43講座	45講座		
	講座受講者延べ人数		1,438人	1,533人		
	・受講後アンケート調査による講座評価が、5段階平均で 4.61ポイント（昨年度比＋0.14ポイント）という高評価を得ることができた。 ・若手教員を対象としたコンプライアンス研修講座・授業力向上講座の受講者数の多さ、当日の意欲的な雰囲気、受講後評価の高さ、次回も参加したい等の希望が多かったことから、継続開設して良かったと実感できた。 ・特別研修講座（関西大学田尻悟郎教授による英語科授業力向上研修会・教職員中央研修報告会等）の開催も、タイムリーかつ内容の濃いものとなった。受講後評価も高く、次年度も開設して欲しい旨のアンケート報告が数多く寄せられた。					
今後の取組・課題	・勤務経験3年から5年を対象とした悉皆研修において、ここ数年の新規採用教職員の増加に伴い、参加研修回数が増え、学校業務等に支障をきたす小学校も現れた。平成30年度開設研修講座の内容・講座数・悉皆又は希望の選択・実施日時等を見直し、悉皆研修から希望・特別研修へとシフトしながら、その内容を充実させ、キャリアステージ・ライフステージに応じた有意義な研修講座の計画に努めたい。 ・講師との打合せ等を綿密に行い、受講者のニーズにあった充実した講座の実施に努めたい。				評価	

重点目標	2	生涯を通じた「学び」を充実します
------	---	------------------

実践目標	1	市民一人一人のニーズと社会の要請に応える「学び」の場を提供します
------	---	----------------------------------

【 担当課 生涯学習課 】

取組	1	学習機会を提供する											
取組内容	○社会教育施設の機能の充実と条件整備 ○公民館主催講座の拡充(年間44講座)等生涯学習機会の充実 ○市広報のほか、様々な媒体を利用し、生涯学習情報の発信												
指標名		指標説明	区分	目標数値	実績数値								
公民館主催講座数		公民館主催講座の年間講座数	H28	40	52								
			H29	44	57								
取組状況・成果	・北部公民館の空調設備修理、善防公民館1階トイレの洋式化、オークタウン加西研修棟改修を実施し、社会教育施設の機能を充実させた。												
	<table><tr><td></td><td>平成28年度</td><td>平成29年度</td></tr><tr><td>公民館主催講座数</td><td>52講座</td><td>57講座</td></tr><tr><td>公民館主催講座参加延人数</td><td>8,930人</td><td>9,959人</td></tr></table>					平成28年度	平成29年度	公民館主催講座数	52講座	57講座	公民館主催講座参加延人数	8,930人	9,959人
		平成28年度	平成29年度										
	公民館主催講座数	52講座	57講座										
公民館主催講座参加延人数	8,930人	9,959人											
・南部公民館の講座が、時事課題解決や地域と連携し地域的課題の解決に向け大きく寄与していることなどが評価され、文部科学省より「第70回優良公民館表彰」を受賞した。													
・市広報誌、チラシ、インターネット等様々な媒体を活用し、生涯学習情報を発信した。													
今後の取組・課題	・今後も引き続き、社会課題の解決を図る講座や地域のニーズに対応した学習機会を提供する。				評価								
	・他部局や社会教育団体(加西市連合婦人会等)とのコラボ事業により学習機会の拡充を図る。												

重点目標	2	生涯を通じた「学び」を充実します
------	---	------------------

実践目標	2	「いつでも、どこでも、気軽に」学べる公民館活動を充実します
------	---	-------------------------------

【 担当課 生涯学習課 】

取組	1	学習成果を地域に還元する			
取組内容	○公民館登録グループ出前講座の参画グループが30グループになるように推進 ○公民館登録グループ、社会教育団体の主体的な活動の支援				
指標名		指標説明	区分	目標数値	実績数値
出前講座		出前講座実施グループ数	H28	30	29
			H29	30	21
取組状況・成果		・公民館出前講座の実施グループ数は21グループ、昨年より8グループ、受講者数も約2,000人減となったが、学童保育等子ども対象の依頼が増加している。			
			平成28年度	平成29年度	
		公民館出前講座実施グループ数	29グループ	21グループ	
		公民館出前講座受講者数	3,877人	1,632人	
今後の取組・課題		・善防公民館を拠点とし社会教育団体(社会教育推進員)と協働で毎年地域住民交流事業を開催しており、地域の特性を生かした地域づくりの取組が評価され、こころ豊かな美しい北播磨推進会議より奨励賞を受賞した。			
		・公民館で自主的に学ぶ登録グループ(平成29年度末 128グループ 新規6・解散5)の高齢化と固定化が進み、新規メンバーの獲得等、活性化を図ることが必要である。			
		・公民館まちづくり出前講座は、普及してきており学童保育等の子ども対象に講座の依頼も増えてきているが、依然講座を実施するグループに偏りがある。			
		評価			

重点目標	2	生涯を通じた「学び」を充実します
------	---	------------------

実践目標	3	ふるさとの豊かな歴史、文化遺産を活かしたまちづくりを進めます
------	---	--------------------------------

【 担当課 生涯学習課 】

取組	1	歴史文化基本構想を策定し、文化遺産の包括的な保護と活用を図る			
取組内容	○「加西市歴史文化基本構想」の策定 ○市指定文化財の指定 ○指定文化財整備活用 ○未指定文化財の再評価 ○埋蔵文化財包蔵地の周知と開発計画との調整 ○地域、学校教育、イベントへの出前講座・説明会等の開催(開催6回) ○史跡玉丘古墳群の整備 ○玉丘史跡公園の効率的な管理と運営				
指標名		指標説明	区分	目標数値	実績数値
歴史文化基本構想の策定		市内の歴史文化遺産の包括的な保護活用を図るため「加西市歴史文化基本構想」を策定する	H28	—	0
			H29	100%	100%
取組状況・成果	・「加西市歴史文化基本構想」を策定するとともに策定記念フォーラムを開催した(45名)。 ・国重要文化財の所有者変更に伴い、市内の重文件数が増えた(1件)。 ・市指定文化財羅漢寺石造物群(五百羅漢)を県に申請し県指定文化財に指定された。 ・指定文化財修理2件(国指定:1件・県指定:1件)への補助金助成を実施し整備を図った。 ・埋蔵文化財と開発計画の調整事務を377件、立会調査を4件、確認調査を7件実施。 ・出前講座・講師派遣・見学会等の開催(小学校:2校 団体・一般8件260名が参加)。 ・笹塚古墳の整備実施設計および樹木伐採を実施。 ・史跡公園(指定管理)の来園者数36,160名(前年比115%)。 ・史跡公園遊具広場まわりの排水環境の改善工事を実施(6月～7月)。				
今後の取組・課題	・「加西市歴史文化基本構想」の策定に基づく、歴史文化遺産にまで網を広げた、保護・活用に向けた新たな取組が必要となる。(H30年度に「日本遺産」への申請を計画中) ・建造物の老朽化や石造物の風化等の問題、未指定文化財を含め防火防犯の問題があり、文化財の保存と維持管理の充実を図ることが課題である。 ・看板設置や情報発信、観光ルート設定等、文化財の観光資源化への取組の拡充が必要である。				評価

取組	2	地域歴史遺産の掘り起こしと活用及び文化財保存団体等の活動を支援する			
取組内容	○「文化遺産総合活用推進事業」の推進(7団体8事業) ○「加西市史を読む会」の開催および終了(6回開催 参集目標120人) ○青野原俘虜収容所関連調査 ○市内各文化財保存会等の活動支援(32団体)				
指標名		指標説明	区分	目標数値	実績数値
「加西市史を読む会」の開催		年間参加者数	H28	200	261
			H29	120	129
取組状況・成果	・「文化遺産総合活用推進事業」実施、文化遺産普及啓発事業1件(五百羅漢)、文化遺産継承事業6件(屋台:黒駒・東高室・小谷・窪田・祭具:節句祭り祭・綱引獅子舞)、文化遺産調査研究事業1件(小谷区調査)など多種多様で有効な文化遺産の活用ができた。 ・「加西市史を読む会」を開催し加西史の普及に努めた。なお、当初計画していた1・2巻の解説を完了したため、全84回(H20年度開始)で事業を終了した(6回開催 参加者129人)。 ・青野原俘虜収容所の国機関所蔵資料の収集および目録化。 ・青野原俘虜収容所ホームページの作成。 ・文化財保存会等活動助成32団体への補助金助成実施等を通じて継続的な歴史文化遺産の保存を充実させることができた。 ・文化財サポーター研修会を実施した(1回)。				
今後の取組・課題	・歴史遺産や伝統文化の担い手である地域の文化財保存会等への活動支援の充実を図ることが課題である。 ・各地区のふるさと創造会議と連携し、地域の活性化事業へ歴史文化遺産の側面からサポートしていく。				評価

重点目標	3	みんなで子どもの未来を応援し、支援します
------	---	----------------------

実践目標	1	子育て環境の充実を図ります
------	---	---------------

【 担当課 こども未来課 】

取組	1	幼保連携型認定こども園の整備と学童保育の充実を図る			
取組内容	○健やかな成長を支える子育て環境整備を促進し、幼保連携型認定こども園を整備、推進 ○放課後や土曜日の児童健全育成の場となる学童保育事業の充実 ○学童指導員の人材育成				
指標名		指標説明	区分	目標数値	実績数値
学童保育入園者数		毎年4月1日時点の入園者数	H28	300人	333人
			H29	300人	334人
取組状況・成果	- 平成29年4月に加西こども園を開設した。次いで、市内3番目の公立認定こども園となる北条ならの実こども園の整備が完了した。さらに、(仮称)泉こども園の建設用地を確保するため、地権者、関係機関と交渉し、建設用地を取得した。 - 泉中学校区のこども園整備計画について、小学校区ごとに説明会を開催し、待機児童の解消と保育と教育の一体的な提供や人的体制の充実を議論し、計画の推進を決定した。 - 児童が安全に生活できるよう富田学童保育園舎を拡充するなど環境整備に努めた。計画的に指導員の研修会を開催し、毎月の連絡会とともに指導員の共通理解を深めた。県の指定研修に6名が参加し、資格認定を受けた。				
今後の取組・課題	- 新たなこども園整備については待機児童の解消、保育士の確保等、預かる側からの説明になりがちであり、こども園の魅力や特色について保護者に伝えていきたい。 - 公設による施設整備は建設に要する財源確保が課題である。 - 学童保育指導員の計画的な採用と育成支援に努めたい。				評価

取組	2	特別保育ならびに保育料の負担を軽減する			
取組内容	○延長保育、病児・病後児保育など特別保育の充実 ○多子世帯への保育料負担軽減及び一部助成の実施				
指標名		指標説明	区分	目標数値	実績数値
病児・病後児保育園の利用者		年間利用者数	H28	400人	475人
			H29	600人	623人
取組状況・成果	・病児・病後児保育事業の利用が広がり、29年度は開設から3年目で目標であった600人を上回ることができた。年々、事業者と制度に対する保護者の評価が高まっている。 ・保育料の無償化は、平成28年度から加西市、小野市で実施しており、平成29年度には三木市、西脇市、加東市、多可町も加わり、北播全市町で4、5歳児の保育料が無償になっている。そのうち三木市は3歳児まで無料にしており、加東市は保育料を軽減するための補助金として3歳児までを対象に月額6千円を補助することで軽減を図っている。平成29年度は前年に引き続き、4、5歳の保育料の負担軽減を実施した。 ・多子世帯に対する保育料の軽減措置は、第2子160名、第3子74名の申請を受理した。				
今後の取組・課題	・国の保育料無償化の動きについては、平成31年度実施の政府案が検討されている。無償化の拡大は待機児童の増加にもつながるため、施設の統合と合わせて進めたい。また、受け皿確保のためには、低年齢児を対象とする小規模保育施設の活用も事業者を募って進める必要がある。				評価

取組	3	親子のふれあいや地域交流を通じた子育て支援を実施する			
取組内容	○入園前のこどもがいる保護者に、親子のふれあいや親同士の交流、育児の不安や悩みを相談する場の提供。 ○民間認定こども園、民間保育所における子育てひろばの運営支援 ○子育て支援に関する情報発信の強化				
指標名		指標説明	区分	目標数値	実績数値
子育てひろば利用者数		「ねひめキッズ」、「ほくぶキッズ」、「ぜんぼうキッズ」の3施設を訪れた年間延人数	H28	26,000人	25,674人
			H29	25,000人	20,350人
取組状況・成果	・「ねひめキッズ」、「ほくぶキッズ」、「ぜんぼうキッズ」の各子育てひろばにおいて、季節の催事等、親子交流の場を設け、地元の高校や福祉団体と連携し、参加者の拡大と交流を図った。ひろばには、就園前の幼児とその保護者が来園するが、少子化の影響や就労のために早くから保育所に預けられる幼児も増えているため、平成29年度の年間延べ利用者は20,350人となり、前年の25,674人を大きく下回った。 ・子育て専用掲示板の設置、ハンドブックの配布、メール配信サービス等を活用し、子育て支援に関する情報発信の強化に努めた。「子育てNAVI」というウェブページの利用が広がり、年間閲覧数は、99,000件から510,000件に伸びた。 ・平成30年1月から健康福祉会館で行う1歳6カ月健診に出向き、受診に訪れた親子を対象に子育てひろばのPRチラシを配布し、広く周知を行った。				
今後の取組・課題	・それぞれの広場で特色を発揮しながら運営を行うが、低年齢から保育所に入所する児童が増えており、公立の広場では、来園者が減少傾向にある。一方、民間園での広場来園者は、その後の入園への道筋が形成されるため、各園ともに周知活動が盛んになっている。 ・施設の集約を行い、公立の広場は3か所から2か所に縮小した。その上で、2ひろばを登録制から、誰もが自由に来訪できる方式に改めた。今後においては、各支援員が客待ちの姿勢ではなく、出張ひろばのように他施設や地域に積極的に出向いて、呼びかける必要がある。				評価

重点目標	3	みんなで子どもの未来を応援し、支援します
------	---	----------------------

実践目標	2	命と人権を大切にす心豊かでたくましい青少年の健全育成を進めます
------	---	---------------------------------

【 担当課 総合教育センター 】

取組	1	青少年の健全育成に係る関係機関・団体等との情報交換や合同研修活動等の充実を図る			
取組内容	○青少年の非行防止・健全育成等に係る各種関係機関・団体等との連携の強化 ・市青少年補導委員連絡協議会との連携 ・県青少年センター協議会・県補導委員連合会・北播磨補導委員連絡協議会等との連携 ・北播磨県民局との連携 ・市補導委員連絡協議会・市青少年健全育成会・市連合PTA等との合同学習会の開催 ・市補導委員等による「ネット見守り監視行動」の実施 ・市内相談機関(地域福祉課・まーぶるキッズ・ぜんぼうキッズ・ほくぶキッズ・ふるさと創造課)との連携 ・小中学生のインターネット等の使用に関するアンケート調査と啓発リーフレットの作成・配付 ・市地域見守り隊・ワッショイスクール・子ども110番活動等の支援				
指標名		指標説明	区分	目標数値	実績数値
見守り活動等数	補導委員による街頭補導・特別補導・ネット見守り、女性協力員による登下校等見守り・合同補導等の延べ活動人数及び合同研修会等の参加人数の合計		H28	2,000人	2,362人
			H29	2,500人	3,362人
取組状況・成果	青少年の非行防止・健全育成等に係る各種団体・連絡協議会等一覧				
	団体等名		備 考		
	加西市青少年補導委員連絡協議会		152名(市内各町代表・女性協力員・市内県立高2校代表等)		
	加西市ネット見守り隊		毎月1回(19:30～21:00)見守り活動、スキルアップ研修会等の実施		
	市総合教育センター女性協力員の会		10名(4中PTA・北高PTA・連合婦人会・更生保護女性会)		
	加西市青少年健全育成連絡協議会		10名(小学校区毎(北小・東小は合同))不審者注意啓発幟旗		
	加西市子ども会育成連絡協議会		校区・市行事(オセロ大会・親善球技大会・雪体験ツアー等)		
	加西市連合PTA		子ども見守り隊活動・子ども110番の家設置等		
	加西市青少年団体連絡協議会		デイキャンプ・新春のつどい・とんど焼き等		
	青年連絡会えんどれす		かさいサイサイ祭り「お化け屋敷大作戦」等		
・センター内に各種団体・連絡協議会等の事務局があり、担当者と代表等が連携を密にして活動できた。また、健全育成に係る各種団体・協議会等を繋ぎ合わせる役割も果たせた。					
今後の取組・課題	・児童生徒の問題行動は、インターネット等に関わるものや家庭事情によるもの等、様々な要因が絡み、複雑な様相を呈している。インターネット利用等の親子学習会の充実、センター学校サポートチーム(スクールソーシャルワーカー派遣等)による支援等の充実を図りたい。				評価

重点目標	3	みんなで子どもの未来を応援し、支援します
------	---	----------------------

実践目標	3	安全・安心な教育環境を整えます
------	---	-----------------

【 担当課 教育総務課 】

取組	1	教育施設の老朽化度合いを考慮し、各年度に実施する改修工事件数を設定し、計画的に改修工事を実施する			
取組内容	○計画的な改修工事の実施 ・教育施設の耐震化は、平成27年度に100%になり、平成28年度に旧校舎の解体撤去と外構工事が完成することで耐震化関連工事が完了した。耐震化が必要でない施設については、今後計画的に改修工事を実施し、環境改善に取り組む。 平成29年度施工計画件数5件 ①加西中学校プール改築工事 平成29年11月～平成30年3月 ②特別支援学校温水プール設備改修工事 平成29年11月～平成30年3月 ③富合小学校北校舎トイレ整備工事 平成29年11月～平成30年1月 ④善防中学校プール浄化装置更新工事 平成29年12月～平成30年3月 ⑤泉中学校プール塗装工事 平成29年4月～平成29年6月				
指標名		指標説明	区分	目標数値	実績数値
教育施設の改修・修繕計画件数		教育施設の改修・修繕工事件数	H28	4件	4件
			H29	5件	5件
取組状況・成果	・教育施設の改修・修繕計画件数は計画通り5件実施した。				
	教育施設整備事業一覧				
	工事・委託業務名		工事・委託期間	出来高	
	加西中学校プール改築工事		平成29年11月10日～30年3月30日	100%	
	特別支援学校温水プール設備改修工事		平成29年11月10日～30年3月26日	100%	
	富合小学校北校舎トイレ整備工事		平成29年11月 8日～30年1月31日	100%	
	善防中学校プール浄化装置更新工事		平成29年12月28日～30年3月26日	100%	
泉中学校プール塗装工事		平成29年 4月27日～29年 6月 5日	100%		
今後の取組・課題	・施設の老朽化が進んでいるため、計画的に改修工事を行う必要がある。 平成30年度工事予定件数5件 ①北条・北条東・泉小学校給食保管室整備工事 ②加西中学校職員トイレ棟改築工事 ③加西中学校給食運搬路整備工事 ④加西中学校駐車場整備工事 ⑤加西特別支援学校感覚学習室・体育館改修工事				評価

総合コメント

評価委員会の評価	概ね妥当
第2期「加西市教育振興基本計画」（第2期加西教育プラン）に基づき、具体的な成果目標（指標）を掲げ、その実現に向けた様々な取組がなされつつある。 今後、施策の更なる充実に向け、関係各課が連携協働し、成果指標の設定、取組手法の選択、資源投資、点検評価を適切に図ることで、基本理念の「新しい時代を切り拓く心豊かで自立した人づくり」を推進していただきたい。 なお、「働き方改革」が求められる中で、教育委員会事務局並びに関係機関の業務改善も意識した点検評価を検討いただきたい。	

※評価委員会の評価については、「妥当」「概ね妥当」「やや不適」「不適」の4段階評価とする。

教育委員会評価委員会

教育委員会の点検評価を行うにあたっては、教育に関し学識経験を有する方の知見や、客観性を確保することが可能となる方の意見をいただき、効果的な教育行政の推進と市民への説明責任を果たすことを趣旨としており、次の方々に評価委員をお願いしました。

評価委員会委員	
所 属	氏 名
兵庫教育大学大学院 教授	日渡 円
兵庫教育大学大学院 准教授	押田 貴久